

## Holiday Training



この度はユニフォームを提供して頂きまして誠にありがとうございました。さっそく頂きましたユニホームを4,5月に行われました合同合宿の中で活用させて頂きました。毎学期休業期間を利用して行っているこの合宿、今回も小、中、高校生、約50人が一週間寝食を共にし、また厳しい"躰"を通してたくましく成長してくれました。

私の任地ではわずか15,6年前まで戦争が行われており、子どもたちの親御さんはそれを経験している世代です。そうした中で、スポーツが伝えられる喜びは日本以上に大きいと感じています。またウガンダの学校教育は日本以上の知識の詰め込みですので、こうした仲間と関わりを通じて困難を克服していく経験は子どもたちの将来に大きく生きてくると信じています。今後も活動の中で有意義に、ウガンダでの野球普及のために頂きましたユニフォームを活用していく所存です。本当にありがとうございました。

にほんまっ地球市民っ会

三保 恵一 様

はじめまして、青年海外協力隊(体育)としてアフリカ・ウガンダ共和国で活動しています  
佐藤翔と申します。

先に起こりました東日本大震災で被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。ここ  
ウガンダでも大震災以来 "Fukushima" という地名をニュースで聞くことが多く、世界規  
模の出来事だったのだと改めて感じております。

そしてこの度は野球ユニフォームを提供して頂きまして誠にありがとうございました。

私はセカンダリースクール(日本の中1~高3にあたる)に配属されており、その配属  
先野球部の子どもたちと日々野球に励んでいます。野球を通して"本物のリーダー"になる!  
をモットーに、毎朝の学校内清掃、大きな夢を描き、目標設定用紙を活用しながら生活の  
質を高めていくなど、野球を通して人間力を磨くことに力を入れています。

先日、学校休校期間を利用し、小学校、中学校を数校招待し合同合宿を行いました。日  
本の高校球児のような大きい子から、初めて野球をする小学生まで約50人での合宿、そ  
こでいただいたユニフォームを活用させて頂きました。これまでは学校の制服で練習して  
いた子も、力いっぱい動ける!スライディングもできる!ということでこれまでになくエン  
ジョイしていたようです。また参加した子どもたちは皆、規律を身につけ、特に中・高生  
たちにとっては、リーダーとしての自覚を一段と新たにした充実した合宿となりました。

今後も頂きましたユニフォームを活用し、ウガンダでの野球の普及に取り組んでいきま  
す。ご支援誠にありがとうございました。

青年海外協力隊21年度2次隊

ウガンダ共和国 体育派遣

佐藤 翔(福島県福島市出身)



ご支援、本当にありがとうございました!(ウエバレ・ニョ!)